

試験の内容(全て筆記試験)

家電製品エンジニア				家電製品アドバイザー		
試験種目	対象機器・項目など	試験科目		試験種目	試験科目	対象機器・項目等
		基礎技術	応用技術			
AV情報家電	基礎回路と部品、デジタル信号処理技術、映像機器、放送と受信、テレビ受信機、レコーダ、ビデオカメラ、デジタルカメラ、音響機器、インターフェイス、パソコンと周辺機器ネットワーク、ファクシミリ、電話、記録メディア、電池など	基礎回路の動作、各機器との接続、構造、種類と特徴、各部の動作と働き、測定器の原理と取り扱い方法など	取り扱い、トラブル対応、故障診断と対処法、設置と調整、回路の動作判定、安全な修理、安全点検、製品安全、関連法規など	AV情報家電	商品知識・取り扱い	テレビ・放送、BD/DVD/HDDレコーダ、ビデオカメラ、デジタルカメラ、音響機器、プリンタ、AVシステム、電話、ファクシミリ、スマートフォン、パソコン・タブレットと周辺機器、AVネットワーク関連機器、記録メディア、電池など
					CS・法規(共通)	CS総論、CSの基本 関連法規に関する知識など (消費者保護、製品安全、省エネ、環境関連法規など)
生活家電	電気回路と部品、冷凍・空調応用機器、家事・生活製品、電熱応用機器、照明機器、電池・太陽光発電システム、エコキュート、スマートハウス、測定器、実務に必要な電気安全・法規など			生活家電	商品知識・取り扱い	エアコン、冷蔵庫、洗濯機、掃除機、衣類乾燥機、ふとん乾燥機、除湿機、空気清浄機、加湿器、電子レンジ、クッキングヒーター、ジャー炊飯器、食器洗い乾燥機、生ごみ処理機、照明器具、温水洗浄便座、電気暖房器、太陽光発電システム、エコキュート、スマートハウス、電源・電池、美容・健康関連機器など

家電製品エンジニアは「基礎技術」と「応用技術」、家電製品アドバイザーは「商品知識・取扱」と「CS・法規」の両方の試験科目が基準を満たすことにより資格を取得できる。片方のみ基準に達した場合、科目合格者としてその後2回の試験(1年以内)に限り、基準に達した科目の試験を免除される。

家電製品アドバイザー / 家電製品エンジニア 14万人が資格取得

認定証
家電製品アドバイザー

Gold

交付 平成25年05月01日
有効期限 平成30年04月30日

村岡 花子
住所 東京都千代田区千代田1-1-1
電話番号 03-4741-5600
生活家電 家電 花子
氏名 花子

一般財団法人
家電製品協会
TEL 03-4741-5600

認定証
家電製品総合エンジニア

Platinum

交付 平成25年05月01日
有効期限 平成30年04月30日

村岡 太郎
住所 東京都千代田区千代田1-1-1
電話番号 03-4741-5600
生活家電 家電 太郎
氏名 太郎

一般財団法人
家電製品協会
TEL 03-4741-5600

「エグゼクティブ等級」ゴールドグレード④とプラチナグレード⑤の認定カード

「エグゼクティブ等級」ゴールドグレード④とプラチナグレード⑤の認定カードは、消費者の皆さまに安全・安心で、より楽しく、よりエコで経済的な家電ライフを格向けには「商品知識と取

昨年9月に実施された第25回全国統一試験では、アドバイザー資格で1960人、エンジニア資格で241人が試験に合格し、11月1日付で新たに資格認定を受けた。

今回の試験から導入された、資格取得者のなかでも最上級の知識保有者であることを証す「エグゼクティブ等級」には、58人が合格した。

「金色に輝く認定証(ゴールドグレード)」もしくは「漆黒デザイン」の認定証(アラチナグレード)を着用。一目でその存在が分かるようにしている。

本格的なデジタル化・ネットワーク化の時代を迎え、高度に発展を続ける家電製品に対応できる人材の育成はますます重要な課題になっている。

森センター長は「ネットワーク技術やロボット技術などの進展により、家電製品の選択や使いこなしが難しくなった」とし、商品説明やサービスなどを省略することで、低価格を売りにするネット販売などの新たな販売方法が台頭する中で、「関係者との協力のもと、消費者の皆さまに安全・安心で、より楽しく、よりエコで経済的な家電ライフを格向けには「商品知識と取

家電製品協会
認定センター

エコで経済的な家電ライフを消費者に安全・安心を届ける

家電製品協会認定センター(森拓生センター長)は、家電販売・サービスなどに関わる企業とともに、消費者に信頼され、最高のサービスを提供できる家電製品アドバイザー・エンジニアの育成を行っている。家電製品の基礎知識・最新知識を持ち、消費者に正しい商品選択やエコで安全な使用方法などをアドバイスする「家電製品アドバイザー資格」、同じく家電製品の基礎理論と動作原理などを理解し、家電製品のセットアップやトラブルを解決する「家電製品エンジニア資格」は、01年にスタートし、年2回の全国統一試験を実施、これまで延べ約14万人の合格者を輩出している。

「意識」と「知識」をさらに高める各種施策を積極的に進めていく」とセンターの方針を話している。

認定センターでは、3月と9月に家電製品エンジニア/アドバイザーの全国統一試験を実施している。

今年3月は9日(日)と、12日(水)に試験が実施される。昨年12月1日から受験申請受け付けを開始しており、締め切りは今年27日。今年の受験者向けに14年版の参考書を発行した。いずれも、変化の激しい製品や技術動向を反映している。